



地域経済の活性化の核となる道の駅（蛸街道 西ノ市）

下関市長の部屋

検索

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

買い物は地元店舗と道の駅で プレミアム付商品券 （総額20億5000万円）を販売



んにちは。市長の中尾友昭です。地域の消費喚起など景気の弱い部分にスピード感と的を絞った対応をするために、国の緊急経済対策として創設された「地域活性化・地域住民生活等緊急支援助交付金」を活用して、プレミアム付商品券を発行します。

プレミアム付商品券とは、販売金額に一定の増しが付与された商品券です。市内の小売店、飲食店やサービスを提供する店舗などで利用できるプレミアム付商品券の発行により、地元消費の拡大と地域経済の活性化を図ることが目的です。地元商店を知ってもらう効果も期待しています。普段購入を控えていた商品の購入などにも、ぜひ積極的に利用いただきたいと思います。本市では、「下関市プレミアム付商品券」と「しものせき道の駅商品券」の2種類の商品券を発行します。

■下関市プレミアム付商品券

下関商工会議所が発行。1枚1000円の商品券12枚セット（共通券10枚+店舗面積10000平方メートル以下の中小店舗で利用可能な2枚の計1万2000円分を1万円で

15万セット（総額18億円）販売。約17億円の商品券の購入予約を6月中旬から開始予定。インターネットとか専用応募はがき（商工会議所、商工会、市役所各支所、山口銀行・西中国信用金庫の市内本支店で配布）で応募。残りは、7月中下旬に特設会場で先着順に販売。市内の加盟店で使用可能。有効期限は12月31日まで。購入対象者は、市民と市内に通勤・通学の方。
詳細は下関商工会議所（☎227-2275）へ

■しものせき道の駅商品券

市内道の駅で組織された実行委員会が発行。1枚1000円の商品券5枚セット（5000円分）を4000円で5万セット（総額2億5000万円）販売。7月18日から市内各道の駅で販売を開始。市内道の駅（きくがわ、蛸街道 西ノ市、北浦街道 豊北）で共通して使用可能。有効期限は、来年1月17日まで。購入は誰でも可能。

詳細は2015道の駅商品券実行委員会（☎786-0111）へ

大変お得な2種類の商品券をぜひ利用していただき、市内産品などの地産地消を通じて下関を盛り上げましょう！

しものせきナビ vol.56

幕末維新紀行

高杉晋作
しゅうえんのち
終焉之地

下関市新地町35番2



高杉晋作（号・東行）は、慶応二（1866）年6月からの四境戦争で、奇兵隊などの諸隊を率いて幕府軍を小倉口で撃退しました。その時、既に病に侵されており、慶応三（1867）年4月14日、新地の庄屋林算九郎邸の離屋で没しました。27年と8月の短い生涯でした。遺骸は奇兵隊陣屋近くの吉田清水山に運ばれ、葬儀は白石正一郎が祭主となつて、神式で行われました。記念碑の創建年は定かではありませんが、明治時代の終わりのころには建立されていたと思われるのでは



◀高杉さん、白石さんによる落成式記念植樹

れます。大正15（1926）年5月に再建され、現在ある碑銘は書家としても著名であった長州藩出身の貴族院議員野村素介（素軒）によるものです。

昭和40（1965）年には、記念碑が設置されていた場所が開発計画が立ち上り、碑は消失するところでしたが、地元の方々の要望により、市が林算九郎邸の一面であった現在地を購入し、記念碑を移設しました。

平成26年に環境整備事業を実施。12月の竣工に伴う落成式には、高杉晋作末孫の高杉力さんと白石正一郎末孫の白石明さんに出席していただきました。